

## 調査報告

### 総務保健福祉常任委員会所管事務

#### 常に備えを！

近年、大規模な自然災害が多発し、住民の暮らしを守る行政の役割はますます大きくなっている。

地域でも防災に対する意識が高まり、各所で避難訓練等が実施されている。また、コロナ禍における避難所運営についても、対策を講じる必要がある。

本委員会では、速やかな災害情報発信、状況に応じた避難所運営のための備え、自主防災組織活性化のための取組等の推進のため、これまで以上に地域組織、関係機関、行政との連携を強化すべきという意見で一致した。さらなる災害対策の充実のため、次のとおり提言する。

#### 1. 防災意識の啓発

災害時に迅速に対応するため、HUGやD

IGを活用した研修・学習。実践に即した防災訓練等の実施。

2. 災害情報の発信

住民へ確実に災害情報を届けるため、防災無線等の既存の情報発信手段以外を検討。

3. 避難所の管理運営

指定緊急避難場所・指定避難所への看板設置と住民への意識づけ。感染症対策や常備品の確保。

4. 自主防災組織の活性化

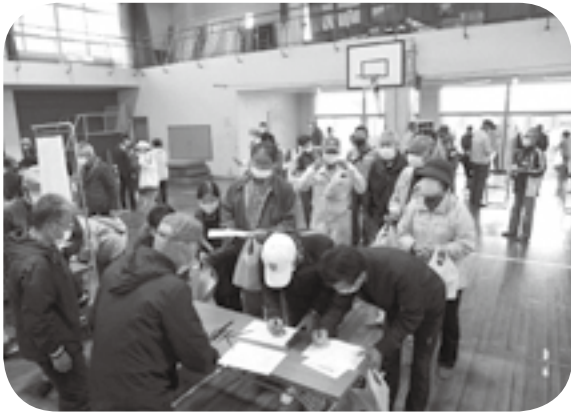
防災意識の高い自主防災組織の取組事例等の発表、防災訓練等への参加を促進。男女共同参画の視点を取入れた組織づくりや地域防災リーダー等の人材育成。

◆HUG（ハグ）

静岡県が考案した避難所運営ゲーム。

◆DIG（ティグ）

地図を用いて災害対策を検討する訓練。



腹赤小校区の地域合同防災訓練

## 研修報告

### 広報調査特別委員会

#### 伝えると伝わるは別物

1月14日（木）、庁舎3階大会議室において、終日研修を行った。

講師は、熊日新聞記者を経て現在は熊本大学客員教授をされている越地真一郎（こえじしんいちろう）先生で、議会広報ファシリテーターとして県町村議会議長会主催の議会広報コンクルールの審査委員長も歴任されている。

研修では、既刊の「潮さい」をもとに、新聞記事で使われているテクニクを用いた見出しの書き方、一般質問の大表題の付け方などを具体的に例示され、「伝えること」と「伝えること」は別物だとして、「伝える」ためにはどうすればいいのかを教えてくださいました。

また、特集ページに



目からウロコの研修

#### 議提第1号

議事会議規則の一部改正について

①男女の議員が活動しやすくする環境整備

議員活動と家庭生活の両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の環境として、出産、育児、介護等議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から産前・産後の欠席期間を規定するもの。

②議会への請願手続きの押印の見直し

請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願手続きについて、請願者に一律に求めている押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改める。

